

種類	30日反省会 ①振り返り評価（よかったこと）
全体	1回目としては成功かと思う
	K. S. H. というネーミングが良かった
	本部としての立場で冷静にみることができた
	一日いたら広陵町がわかるイベントだった
企画立案 ・ 参画と協働	1から作り上げる喜び
	準備から撤収まで段取りがうまくいった
	打ち合わせが十分にできていた
	前準備ができていた
	準備・撤収、車の入替がスムーズだった
	3台トラックの提供が良かった
	撤収・片付けを協力し、早く帰れた
	多様な企画で多様なニーズに応えやすい 引っ張ってくれる実行委員の方々の熱意
つながり ・ 関係性	初めてのイベントでもまとまりがあり、結束があった
	「みんなでつくる」という思いがあり、まとまりがあった
	企業との協働が良かった
	他団体とのつながりが良かった
	スタッフ、お客さんとの知り合いができた
	知らなかった団体と顔見知りになれた
	お互い声をかけられるようになった
	広陵町内のいろいろな団体を知って「広陵」を知れた 広陵町と町民ボランティアのコラボが新しい 役場職員とフラットな関係になった
参加者	子ども対象が良かった
	子どもだけでなく高齢者も参加していた
	3世代（高齢者・子育て世代・子ども）そろって楽しんでいた
	商工会の皆さんは家族ぐるみの交流ができていた
	家族でのつながりが見え、笑顔があふれていた
	みんないきいきしている
	楽しんでいる様子が見える 体験の年齢・年代層が広がった

種類	30日反省会 ①振り返り評価（よかったこと）
出展 関係	各ブースの出展が良かった
	手作り感があった
	広陵町の文化が盛りだくさんあった
	団体がやりたいことができた
	自分たちの団体が持ち味を生かし、自信を持って取り組んでいた
会場 関係	会場の長龍ブリューパークとPR、経費・収入でウィンウィンだった
	いろんな団体を取り入れた
	目が届く範囲の会場の広さが良かった
	会場が広くなく安全に子どもを見ることができた
	広さがちょうど良く、（日除け・冷房など）避難場所があった
	芝生がきれい・場所が良い
	ミスト扇風機がよかった
	暑さ対策ですぐに対応できた
	アナウンスが良かった
	歩いて行ける距離だった
	小学校区の範囲でできたのがよかった
その他	テレビで放映された
	アクシデントへの対応がよかった
	のるーと（広陵元気号）を活用していた
	コロナ明けでイベントを待ち望んでいた
	アンケートしてもらうために景品（シュパット）を用意した
	もう一度やりたい
	違うテーマでやりたい

種類	30日反省会 ①振り返り評価（あかんかったこと）
全体	「何でもできる」はデメリットか。
	参加団体数が多かった
	会場の広さ以上に団体が多くスペースが狭かった
	イベントが主目的になりすぎていた。自治基本条例の周知になっていないのでは
情報共有	準備段階での周知不足
	集合場所等を丁寧に
	準備の際の要員確保
	誰が何をするか分からない
	情報の指揮系統や進め方・ルールを
	水無料、休める場所、ミスト扇風機等の機器類の使い方など、知らないことがあった
出展関係	当日、団体紹介チラシがほしかった
	（ワンダフルな街を創る会）募金が少なかった。犬がかわいそうだった
	イベント終了前に撤収したこと
	ブースによって西日が当たるところがあった
参画と協働	意見交換や打ち合わせ時にもう少し前向きに議論を
	役場に対する態度が悪い（攻撃的）。ネガティブでなくポジティブに
会場関係	参加者の校区が偏った
	長龍ブリューパークの位置が分からなかった
	場所の広さ（竹取公園といった広い場所）
	駐車場が少なかった（スタッフ用、参加者用どちらも）
	駐車場警備・案内者の配置
	開催時期（暑さ）
その他	実行委員会の位置づけ

種類	30日反省会 ②今後の方針（人材育成グループ①）	
結論	知って、やって、共に活動	
そのためにすべきこと	個のつながりを作る	知る
	活動内容を広報や紹介する	
	他地域の人に知ってもらう	
	研修会をする	やってみる
	ワークショップの場を設ける	
	実際に体験してもらう	
種類	30日反省会 ②今後の方針（人材育成グループ②）	
結論	なくしてはいけないこと・・・笑顔・楽しむ姿・雰囲気・縁・会話・個性・回数重ねる	
そのためにすべきこと	校区を越えて知り合う	仲間づくり
	人と人のつながりを作る	
	挨拶、笑顔、積極的に	
	興味がわく内容に	
	動く親の姿を子どもに見せる	体験
	損得勘定の捨て方を会得する	
	作業をするときに参加者を募り、「やってみると楽しい」ことに気づいてもらう （読み聞かせではなく）子どもに紙芝居を読んでもらう	
	盲導犬を各小学校に連れて行き教育に活用する	
体験したことがないことを体験してもらう		

種類	30日反省会 ②今後の方針（情報公開グループ）		
結論	まず知るために、地域活動発表会でお披露目→地域の人たちが知る		
	（旧村は）伝統があるので既存の行事にプラスできるやり方を		
	大人がすべて段取りしない子どもに主体的に参加してもらう→子ども店長		
そのためにすべきこと	行政との関係性を深める	地域内外のPR	
	地域担当職員の有効利用		
	各地域の活動を知る、知らせる		
	校区の協議体を結成		
	小さなグループでの意見交換できる場所を増やす		
	他地域への情報発信を学校、お店、LINE、広報などありとあらゆる方法でPR	子どもが主体となるように	
	やりたいこと、やってみたいことを目安箱みたいところで聞いてみる		
	将来の担い手である子どもに		
	児童会、生徒会がもっと主体的に活動		
開かれた学校にする			
種類	30日反省会 ②今後の方針（モノ・カネグループ）		
結論	行政・・・しっかり支援		
	町民・・・無償ボランティアではなく有償で		
	活動組織・・・組織をしっかり立ち上げて考える		
	全体・・・SNS（YouTube, TikTok）を活用して団体紹介		
	全体・・・楽しいと思わないと興味がわかない→イベントを告知し収益化		
	全体・・・行政や教育関係から備品を借りる		
そのためにすべきこと	活動費の交付	行政	
	行政の横のつながり		
	協働事業に行政は柔軟に対応してほしい		
	行政からの提案	町民	
	町民からの協賛金		
	クラウドファンディングによる寄付金集め	活動組織	
	同じ考えの人を集める		
	自分たちでやれることを考える		
やりたいことができる活動場所の確保			